

降雪による浸水・転覆に注意！

冬季の事故防止対策については、昨年の海上安全だより No.76(平成27年11月)でお知らせしていたところですが、今年に入り、ここ数年発生が無かった「降雪による係留船の浸水・沈没」が発生しています。

これからの季節、北海道内は徐々に気温が上昇して水分を多く含んだ「重い雪」が降りますので、小型船舶を運航される方は特に注意が必要ですが、降雪に対する事故防止対策は

- (1)自船の定期的な確認
- (2)こまめな除雪

あるのみです！

自宅周りの除雪だけで大変・・・という方も多いかと思いますが、降雪前後に自船の状況を確認して被害に遭わないよう対策を取りましょう。なお、降雪や海水で濡れた甲板上はとても滑りやすいので、除雪作業中の転倒や海中転落に十分注意するとともに、暴風や高波等で荒天の場合は、危険なので無理に港に近づくことのないようにしてください。



傾斜、沈没のおそれ等・・・

関係省庁が平成28年度の海難防止重点施策を策定

平成28年1月28日、道内の関係省庁が連携して効果的な海難防止に資することを目的とした「第5回北海道地区関係省庁海難防止連絡会議」が開催されました。

本会議では、昨年（平成27年度）の海難発生状況を踏まえ

- (1)漁船及び漁船乗組員の事故防止対策
- (2)マリレジャーに伴う船舶海難及び海浜事故防止対策
- (3)貨物船の海難防止対策
- (4)その他（潜在的に重大なリスクを孕んだ海難の未然防止等）



【参加機関】

北海道総合通信局、北海道漁業調整事務所、北海道開発局、北海道運輸局、函館地方海難審判所、札幌管区気象台、運輸安全委員会事務局函館事務所、北海道水産林務部、第一管区海上保安本部（事務局）

の4項目を平成28年度の重点施策とし、それぞれの施策毎に分科会を設け、実効的な対策を計画していくことを確認しました。

【続】アンケートへの協力をお願いします。

第一管区海上保安本部では、MICSライブカメラを活用した吹流しによる風向、風速の視覚的な情報提供を検証しております。この取組みについて、その有効性や今後の展開を検討するうえで、ご覧いただいた皆様方のご意見を伺いたく、アンケートを実施しているところです。

この取組みをより良いものにするため、多くのご意見を伺いたいと考えておりますので、重ねまして、皆様におかれましてはアンケートへのご協力をお願いいたします。

ライブカメラで吹流しが観られます

日和山灯台ライブカメラのページ

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/otaru/hiyoriyama_lt/livecamera/index.html

お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118（内線2615,2616）、FAX 0134-27-6193

MICSホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



海難隻数及び海難による死者・行方不明者数（速報値）

1月	11隻、0人
平成28年累計	11隻、0人

